



会長
テーマ

ロータリーの存在をアピールしよう!!



会長 藤野益夫

幹事 朝倉邦雄

国際ロータリー第2750地区 多摩南グループ
東京飛火野ロータリーカラブ

2012-13 Weekly Report vol.25-16

2012年11月20日 第1132回 多摩南グループIM 於：京王プラザホテル八王子

今回のIM6テーマは「予想される大震災と被災地支援」で、第1部式典に続き第2部は被災地からロータリアンを迎えるパネルディスカッションを行いました。加藤コーディネーターの進行宜しくパネラーの皆さんから次々と意見が出され、やはり当時の状況、進まない復興、原発事故の収まらない状況、継続している支援の状況等をお聞きすることができ、参加者一同改めて支援の思いを新たにした。大変有意義な討論会になりました。



◆第1部 式典

■司 会 多摩南グループ幹事 渡邊良勝

■開会点鐘 多摩南グループガバナー補佐 水野 功

■国歌斉唱

■ロータリーソング「奉仕の理想」
♪ソングリーダー 鹿島邦彦

■閉会挨拶 多摩南グループガバナー補佐 水野 功
皆さん今日は、本日来賓の皆様・11RC会員たくさんの方にお集まりいただきました。今年は昨年の桑原さんの講演を受け、予想される首都圏直下型地震・南海トラフ震源の大震災への備えを考え、これまで積み重ねてきた「被災地支援」と「現地に聞く」をテーマにパネルディスカッションです。第3部は懇親会で大いに親睦を深めたいと想います。

■来賓・クラブ紹介

多摩南グループガバナー補佐 水野 功

佐久間宗源ガバナーを始めに来賓の皆様を紹介されてから11クラブを紹介された。

■歓迎挨拶 ホストクラブ会長 藤野益夫

皆様IMによご出で下さいました。佐久間ガバナーを始め多数のご来賓の皆様を含め200余名が参りました。ありがとうございました。実行委員

会とホストクラブの準備は万端かと想いますが、不手際が生じた節はロータリアンの友情でご容赦下さい。小島実行委員長・11クラブの実行委員の皆様5回の会議で計画を立てていただき本当にご苦労さまでした。感謝申し上げます。この式典の後第2部では 昨年のIMを受け、あの大震災を身をもって体験された気仙沼南RC小野寺パスト会長・浪江RC小丸パスト会長を迎えて、震災発生時の南グループ加藤パストガバナー補佐をコーディネーターに昨年度南グループの井上パストガバナー補佐・東京八王子西RC野口パスト会長による「被災地支援の在り方」そして「現地に聞く」でパネルディスカッションを行います。続いて親睦を深める懇親会を予定しています。最期までお楽しみ下さい。

■来賓挨拶 R I 2750地区ガバナー 佐久間崇源様

多摩南グループ11クラブのIMおめでとうございます。又、南グループから水野さんが地区のガバナー・ノミニーに決まりましたことおめでとうございます。パネルディスカッションのテーマ「被災地支援の在り方」サブタイトル「現地に聞く」をしっかり承りたいと想います。各クラブの発展と皆様のご健勝を祈念申し上げます。

◆第2部 パネルディスカッション

テーマ「災害支援の在り方」サブタイトル「被災地に聞く」

コーディネーター 加藤高白様

2010-2011第2750地区多摩南グループガバナー補佐

パネラー

小野寺洋一郎様 气仙沼南RCパスト会長

小丸真司様 浪江南RCパスト会長

井上直行様 2011-2012第2750地区

多摩南グループガバナー補佐

野口文男様 東京八王子西RCパスト会長

加藤コーディネーターが当時のガバナー補佐ということでお役を頂いた。と自己紹介され、最初に何度も胸が締め付けられる地震発生直後の津波で家屋が流される家屋・車等と緊迫した音声のDVDを見てから、大震災犠牲者・東京八王子RC亡鈴木幹事に“黙祷”を捧げた。まず、加藤氏よりパネルディスカッションの趣旨説明があった。支援の在り方では、当初何から手がければよいか暗中模索の状態だった。ことが鮮明になった。そして時間が経つと共に被害の実態が浮き彫りになりマスメディアが特番を組み報道したことで支援の輪が国内外に拡がりました。しかし原発のある福島では人道的な支援も儘ならず未だ放射能の不安に晒され手つかずの地域のあることも明らかにされました。

た。討論で印象に残った発言を順不同で列記します。皆さんの心に残った意見が多々あったのではと思います。復興支援は長丁場でこれからも取り組まねばなりません。このパネルディスカッションが一段上のステップになることを心に刻んで支援を継続しましょう。「明日は我が身か」「備えあれば憂いなし」です。小野寺氏が地震発生直後交通が遮断され通信手段もなくなり情報が寸断された地域では遠く離れた所からテレビやラジオニュースで被害を見聞きした方がメール等を通し発信された情報が支援が早めた。小丸氏の浪江地区では放射能の汚染で犠牲者の救助ができません。発生当時は原発の状況が判らなかったのがパニックにならなかった。避難先も示されず右往左往し時間を要したこと。徐洗というが汚染された土地や山は戻りません。子ども達ももう2度と汚染地域に戻れません。との意見にやるせなさと憤りを新たにしました。物心両面の支援は大変有り難かったです。しかし物資は被災後全国からすぐに送られてきましたが、現地に届くまで時間も掛かりやはり義援金が大変価値がありました。支援を行ったクラブの代表として野口氏の八王子市が義援金を呼び掛けましたのですぐ応じた。45周年記念事業を止め義援金にしました。の発言も心を打たれました。パネラーの皆さんから様々な意見をお聞きしました。加藤氏「がロータリーの友」の記事を紹介しそれへの感想など工夫が凝らされた進行はテンポがよく時間の経つのを忘れるほどでした。まだまだ復興にはほど遠い現地の実状をお聞きし中味に工夫をこらした支援を考えねばならないと痛感しました。そして、被災地からお見えの小野寺氏・小丸氏の現地の悲惨な状況をお聞きしたことで、支援の在り方を考慮しそのスピードを早めねばならないと想いました。(紙面でとても紹介できませんので事務局に記録があります。)

2012年11月24日 第1133回 移動例会「競馬博物館見学会」於：東京競馬場



午前9時に集合し館内見学後、朝倉幹事司会挨拶、お客様の熊澤洋二様・橋本清様、会員夫人の濱田京子様・小島恵の様・渡邊三保子様・平正子様紹介、藤野会長が、24日のIM成功的協力に謝意、水野会員のガバナー・ノミニー推薦について今後の対応、本日は大いに楽しみましょう。と挨拶の後貴賓席で観戦した。競馬場周辺のけやきや桜も紅葉が進み路上に落ち葉が舞う季節となり、この日も朝のうち小雨がぱらつく生憎の天気でしたが相変わらずの競馬人気で土曜日でもあり家族連れで場内は大変賑わってました。雲が次第

◆ IM所感 R I 2750地区ガバナー 佐久間崇源様
所感というよりディカッショの内容を踏まえ予想される震災に備えることの重要さを痛感いたしました。と所感を述べた。

■閉会点鐘 多摩南グループガバナー補佐 水野 功

◆第3部 懇親会 司会 志賀 佳子 IM実行副委員長

来賓挨拶 R I 2750地区ガバナー・ノミニー 小粥定美様
乾杯 R I 2750地区パストガバナー 坂本俊雄様
志賀副実行委員長の司会挨拶で始まった懇親会は前半の張りつめ緊張した状況から一転、うちとけくつろいだ雰囲気に変わり、ご馳走に箸が進みアルコールも回り始めると暫く振りの再会に旧交を温める会員。クラブ内の親睦を深めるグループなどあちらこちらに輪が生まれ話に花を咲かせていました。今年のIMはホストクラブということで意気込んで取り組んだこともあり手前味噌かも知れませんが、例年より最期まで残られた人の数が多かったのではないでしょうか。時間の流れは速く惜しまれる中お開きの時間を迎え小島IM実行委員長の閉会挨拶の後。鹿島会員の指揮で大きく広がった輪で再会を約し「手に手つないで」を大合唱し宴会に幕を下ろしました。

◆会場で頂いた復興支援募金額は161,051円でした。
ありがとうございました。

出席報告	総数	出席	MU前	MU後	欠席	出席率
第1132回	28	28	0	—	0	100%
第1130回	28	16	7	2	3	92.85%

※今週のメーカアップ なし

※先々週の後メーカアップ 鹿島さん 早川さん

にとれてひんやりした空気が次第に和らぎ馬場のコンディションは良好のようでレース毎に大きな歓声が上がっていました。

◆トピックス◆

11月25日(日)リレー・フォー・ライフ日野に参加しました。実行委員会より24日25日の両日で50団体、約2,000名参加、募金額が160万円(11/24現在)と発表されました。(藤野)

出席報告	総数	出席	MU前	MU後	欠席	出席率
第1133回	28	14	6	—	8	71.42%
第1131回	28	21	4	0	4	85.71%

※今週のメーカアップ

水野さん・小高さん・星野さん・安西さん・谷さん・本田さん

※先々週の後メーカアップ なし

ニコニコBOX

本日3,400円 累計597,400円

本年度目標額1,200,000円 達成率49.5%